

多賀町のシビックプライドを明らかにするアンケート調査の実施

本研究のテーマである地域資源である木材を循環させるしくみづくりは、ただ木材を利用するだけでなく、地域に根差した取り組みをすることに重点を置いている。「地域に根差す」という言葉には、地域の人々の心にも根差すという意味が含まれると考える。よって木材を使ってつくられる建築も、地元民に愛される物としなければならない。

地域に住んだり、働いたり、訪れたりする人がその地域に対してもつ愛着や誇りであり、地域をよりよい場所にするための気持ちを指す「シビックプライド」という概念があり、今回は、多賀町におけるシビックプライドを明らかにし、物理的にも精神的にも地域に根差すまちづくりを目指すべく、アンケート調査を行った。まず、公民館検討委員に多賀町での生活で感じるシビックプライドを自由に挙げてもらい、それを基に町民を対象とするアンケートを制作、実施した。

1-1. 「多賀町のシビックプライドを明らかにする」ためのアンケート（公民館検討委員対象） 調査概要

①実施日時・対象・方法

日時：2014.11.18

対象：多賀町中央公民館建設計画検討委員会の委員 11 名

方法：検討委員会にて手渡しで配布、その場で記入、回収

配布物：依頼文、アンケート



写真1
アンケート記入の様子

②アンケート概要

基本情報に関する問いは、性別・年齢・職業・在住年数（勤務年数）・居住地区・居住体形について、選択式にて回答を得た。シビックプライドに関する問いは、五感の見る・聞く・触れる・味わう・香るのそれぞれのカテゴリーについて、どんなこと・どんな時・どんな空間でシビックプライドを感じるか、自由記述式にて回答を得た。

資料1 公民館検討委員対象アンケート

「多賀町のシビックプライドを明らかにする」 ためのアンケートにご協力をお願いします。

先日はお忙しい中、本学料2回生による設計演習Ⅱの講師会にお越しいただき、ありがとうございました。

委員の皆様のご意見を伺っております。

より多賀で過ごす人々の目線に寄り添い、細やかに対応できる公民館を目指すべきだと考えました。

そのためには、多賀の日常生生活や多賀で過ごす人々の気持ちを知る必要があります。

そこで、「多賀のシビックプライドを明らかにする」というテーマで、調査をさせていただきたいと思っております。

シビックプライドとは

都市に住んだり、働いたり、訪れたりする人が、その都市に対してもつ誇りや愛着を指します。

郷土愛とは異なる、都市をよりよい場所にするために自分自身が関わって行くという当事者意識に基づく自負心です。

暮らしに関わらずさまざまなものに地域性がなく、均質化していく中で、特に都会では暮らす都市に対する愛着も薄れていきます。

都市を理解し、その都市での生活スタイルに対する誇りをより強く持つよう働きかけるようになれば、より豊かな暮らしを営めるのではないのでしょうか。

また私は、「公共施設の計画を核とした住民協働型「木造まちづくりの実践」」に関連して、
環境と共生し地域に根差す「まち」づくりの構想
～多賀町における、これからの都市のあり方に対する「まち」としての暮らし方の提案～
というテーマで研究を行っています。

これからの都市は人口減少によって収縮していくため、新しい形態が必要で、
また環境問題の強力な解決のためには、都市規模で生活レベルに根差したシステムの構築が欠かせません。
この考えから、一貫したシステムのもとで生活する団体を「まち」と定義づけ、
環境的要素と地域性要素を含んだ「まち」づくりを目指し、研究をすすめています。

多賀町は、公共建築や住宅建築、工作物など対象物を広く設定し、
地元の木材を地元で活用する「木造まちづくり」の構想を持っておられます。

環境の循環システムにおいて、現代建築はそれを断ち切るように位置していますが、
循環の一部を担うような存在であることが理想的であると考へます。

この構想は、山と都市の循環サイクルをつなげるといった点で環境的要素を含んでおり、
地元で根差した地域性要素も持ち合わせています。

そこで本研究では、多賀をフィールドに、環境と地域に基づく「まち」づくりの提案を行っていきたく考えています。

今回は、多賀に暮らす皆さん、多賀で活動する皆さんに
日常生活に密着した場面のシビックプライドをお聞きし、共通項を見つけて整理することによって、
シビックプライドが湧くような公民館の空間をつくること、
またまちづくりの一環として多賀町のシビックプライドを守ることにつなげたいと思っております。

滋賀県立大学
環境科学研究所 環境計画学専攻 環境建築研究部門
公民館公編研究室 修士1 回生
橋本菜都美

以下の選択肢の当てはまるものには、チェックをお願いします。

Q 1 性別

男性 女性

Q 2 年齢

~ 20 歳 ~ 30 歳 ~ 40 歳 ~ 50 歳 ~ 60 歳
 ~ 70 歳 ~ 80 歳 81 歳~

Q 3 ご職業

公務員 自営業 会社員 専業主婦・主夫 その他 ()

Q 4 公務員・自営業・会社員の方にお聞きます。職種はどちらですか？

農業 林業 製造 運輸・卸売・小売 金融・保険
 医療・福祉 教育 建築 不動産 その他 ()

Q 5 多賀町には何年住んでおられますか？もしくは何年関わっておられますか？

半年以内 1 年以内 3 年以内 5 年以内 10 年以内
 15 年以内 20 年以内 それ以上

Q 6 お住まいの地区はどちらですか？

一円 一之瀬 後谷 大岡 大杉 大君ヶ畑 萱原
 河内 川相 木曾 久徳 栗栖 甲頭倉 五僧
 小原 佐目 猿木 四手 霜ヶ原 水谷 杉
 多賀 土之木 土田 壺 富之尾 中川原 榎崎
 樋田 屏風 敏満寺 藤瀬 保月 仏ヶ後 南後谷
 向之倉 桃原 八重練 靈仙 その他 ()

Q 7 多賀町にお住まいの方にお聞きます。現在の居住形態はどちらですか？

一戸建て (持ち家) 一戸建て (賃貸) 分譲マンション 賃貸マンション
 賃貸アパート 公営住宅 官舎・社宅・寮 その他 ()

Q 8

あなたが、多賀町での“日常生活”において、シビックプライド（多賀における愛着）を感じるのはどんなことですか？またそれは、どんな時に、どんな空間で感じますか？

見る (風景、街並みも含む)	どんなこと	どんな時	どんな空間
例) 道に低い軒を出している家並みに、落ち着きを感じる。		例) 仕事から帰ってくる時。	例) 家々の軒からオレシジの光のぞく空間。
例) 野鳥のさえずり。		例) 仕事で、ふいに気づいた時。	例) 山が見える窓際の席。
例) 近所のお年寄りを車かけると、どんな年齢の人でも声をかける習慣。		例) こどもと公園で遊んでいる時。	例) 散歩コースのある公園。
例) 歴のおぼさんのくれる便箋。モノのやりとりがある関係性が自慢。		例) おばさんとお喋りする時。	例) 家の間の低い壁風。
例) 山から吹送降らす風につけてくる、緑の香り。		例) 朝、洗濯物を干す時。	例) 山から続く街並みの家。
その他			

たとえば、最近のある1日を思い出してあげてください。落ちつけたり、わくわくしたりした気持ちをもった瞬間はありますか？

アンケートには以上になります。お忙しいところお時間をいただき、ありがとうございます。

町民の代表である皆さまに答えていただいたキーワードを基に、質問事項を再構成して、町民の方々にお願いしていきたいと思っております。その際には、またお力をお借りすることになるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

もしよろしければ、今後のより詳細な調査のために、お名前とご所属のご記入をお願いいたします。

お名前 _____ 住所 _____ 電話番号 _____ 所属 _____

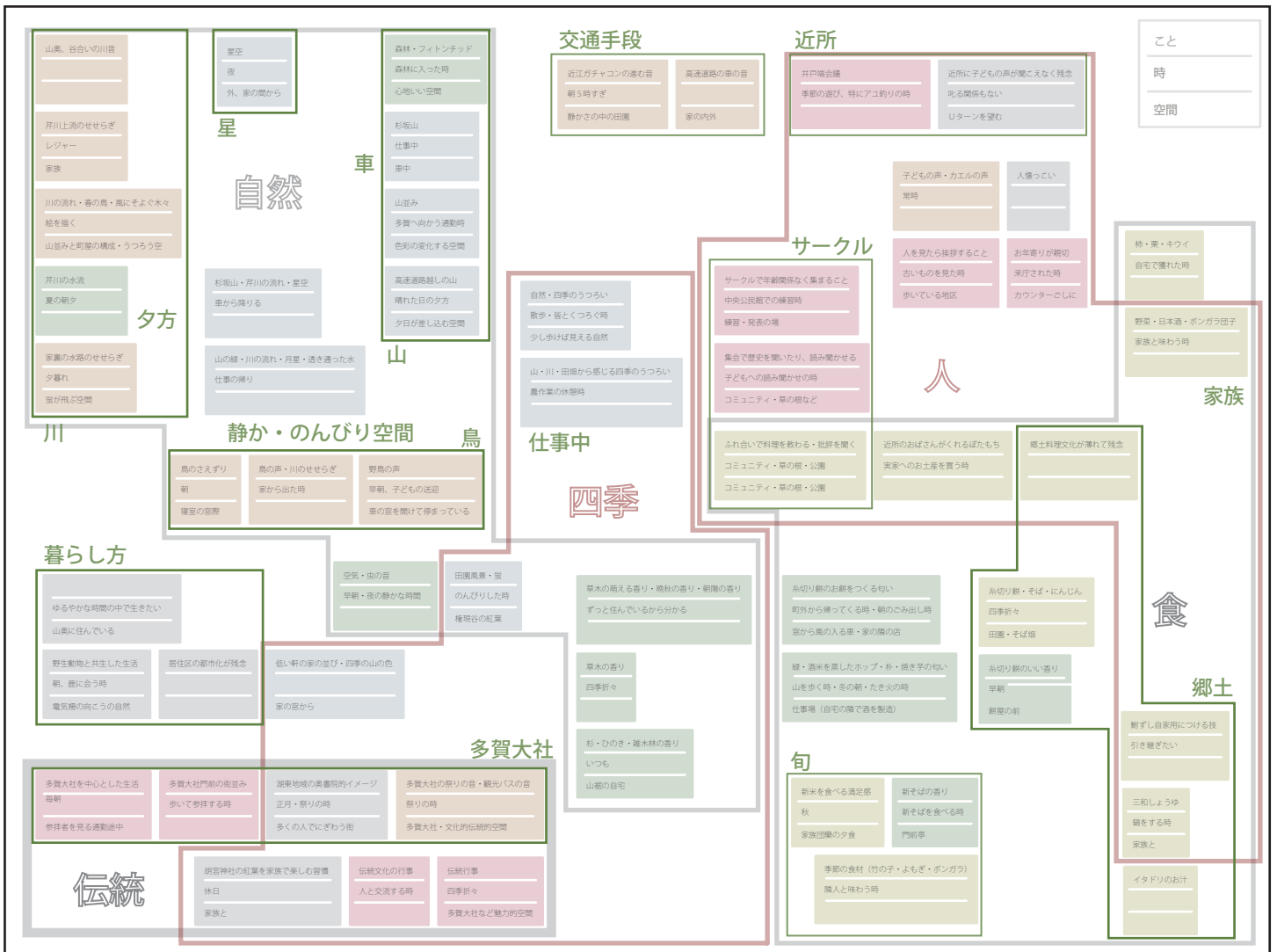
1-2. 「多賀町のシビックプライドを明らかにする」ためのアンケート（公民館検討委員対象） 調査結果

委員から出たシビックプライドを全て書き出し、KJ法にて分類した。（図1）

すると、大きく「自然」「伝統」「食」「四季」「人」に大別できた。その中から、「川」「夕方」「星」「車」「静かでのんびりとした空間」「鳥」「暮らし方」「多賀大社」「交通手段」「工作中」「近所」「サークル」「家族」「旬」「郷土」のキーワードが浮かび上がってきた。

五感の5つのカテゴリにおいて、これらのキーワードを均等に網羅するように抽出し、町民対象のアンケートにおける回答を得るための項目とした。

図1



2-1. 「多賀町への愛着・誇りを明らかにする」ためのアンケート（多賀町町民対象） 調査概要

①実施日時・対象・方法

日時：2015.1.30 -2015.2.12

対象：住民基本台帳より無作為抽出した、15歳以上の多賀町民700人

方法：自治会の配送システムを利用して配布、個人宅にて記入、料金受取人払いを利用して郵送にて回収

配布物：依頼文、アンケート、手書きの協力依頼メモ、返信用封筒

②アンケート概要

基本情報に関する問いは、性別・年齢・職業・在住年数（勤務年数）・居住地区・居住体形について、選択式にて回答を得た。愛着・誇りに関する問いは、五感の見る・聞く・触れる・味わう・香るのそれぞれのカテゴリーについて検討委員から出されたシビックプライドを項目化し、とても感じる・やや感じる・どちらとも言えない・あまり感じない・全く感じないの5段階評価式にて回答を得た。

また、シビックプライドという言葉は本意が伝わりにくいため、愛着・誇りという言葉に置き換えた。



写真2 (左) 返送されたアンケートの一部

写真3 (右) 手書きのメッセージ「ご協力お願いします」

資料2 多賀町町民対象アンケート

返送不要

「多賀町への愛着・誇りを明らかにする」

ためのアンケートにご協力をお願いします。

1. 町民の皆さまの「多賀町への愛着・誇り」をお教えください

多賀町では、滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 松岡拓公雄研究室と共同で、「公共施設の計画を核とした住民共働型『木造まちづくり』の実践」を進めております。

この度はこの研究の一部として、住民の皆様「多賀町への愛着・誇り」に対する意識調査を実施させていただくことになりました。

また、ご記入いただいた調査票の内容は、中央公民館整備検討委員会にて、現在建て替え計画が進められている中央公民館に関して、公民館を町民と行政で知恵と力を合わせてつくり上げるために活用させていただきます。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年1月
多賀町役場 企画課
滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 松岡拓公雄研究室
多賀町中央公民館整備検討委員会

2. ご記入にあたってのお願い

- ・プライバシー保護の関係上、この調査票にお名前・ご住所を記入しないようお願いいたします。
- ・個人の意識を調査しますので、ご本人がご記入ください。
- ・お答えは、あてはまる回答にチェックや丸印を付けてください。
- ・また、自由記述欄については、ご自由に具体的な内容をご記入ください。
- ・全ての項目にご回答ください。

3. 調査票の回収方法について

ご記入いただきました調査票（A3裏表1枚）は、同封の返信用封筒（切手不要）をご利用のうえ、2月12日（木）までに郵便ポストにご投函ください。

※封筒への住所・氏名の記入は不要です。

※この調査に関するお問い合わせ先

滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 松岡拓公雄研究室 担当：橋本（修士1年） tags.aichaku@gmail.com	多賀町役場 企画課 TEL：0749-48-8122 FAX：0749-48-0157 有線：2-2018
--	---

調査票 (郵送送)	
「触れる (歴史、文化、人も含む)」 に関する愛着・誇り	
Q7-11 多賀大社門前の街並み に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-12 井戸端会議 に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-13 サークル活動でのふれ合い に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-14 野生動物と共存した暮らし に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-15 都市化していること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
「味わう」 に関する愛着・誇り	
Q7-16 糸切り餅・そばなどの特産品を食べること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-17 自宅で収穫した食材を食べること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-18 新米・新そばなど旬の食材を食べること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-19 郷土料理の作り方が伝わっていること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-20 人から食べ物のおすそ分けがあること に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない

裏面にも設問があります

調査票 (郵送送)	
「香る」 に関する愛着・誇り	
Q7-21 森林などの木々の匂い に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-22 川の匂い に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-23 四季おりおりに変わる草の匂い に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
Q7-24 糸切り餅・そばなど特産品の匂い に愛着・誇りを感じる。	とても愛着 誇りを感じる 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ やや愛着 誇りを感じる どちらとも 言えない あまり愛着 誇りを感じない 全く愛着 誇りを感じない
自由記述欄 1 (あなたが、多賀町への愛着・誇りを感じる事柄、多賀町への想いなどを、ご自由にお書きください。)	
自由記述欄 2 (あなたが、新しくなる中央公民館に期待することなどを、ご自由にお書きください。)	
アンケートは以上になります。お忙しいところお時間をいただき、ありがとうございました。 もう一度、記入漏れがないかお確かめください。 同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、ポストへ投函してください。	

2-2. 「多賀町への愛着・誇りを明らかにする」ためのアンケート（多賀町町民対象） 調査結果

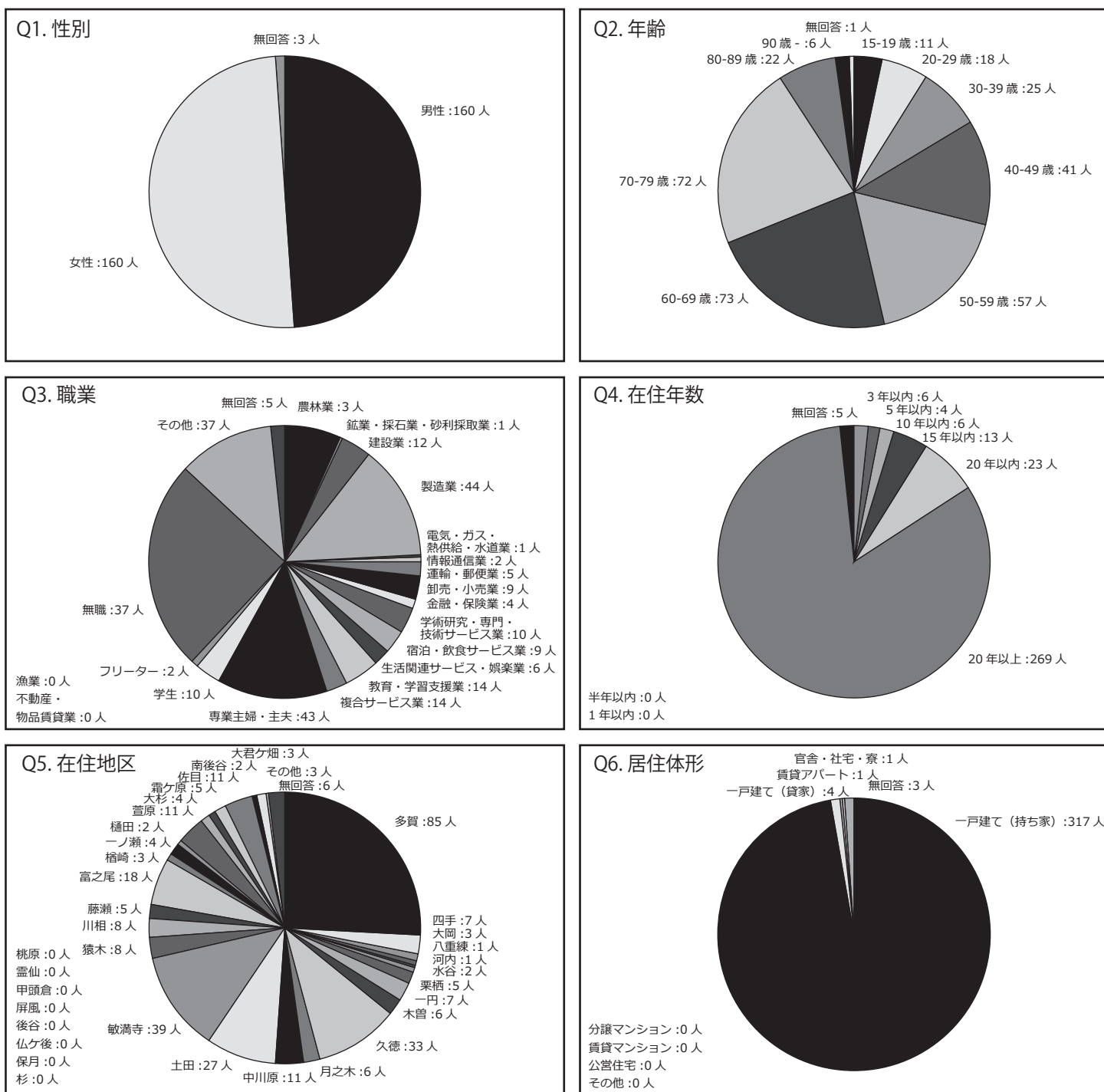
今回の調査は700人を対象に行ったが、多賀町民約7700人の総意と考えられるデータを得るためには、統計学的には対象者が不足している。しかし、検討委員会だけでは得られない数の町民の声を聞くことができたことは、大きな意味があると考えられる。そこで、このアンケートにおける調査結果では、なるべくデータでものを語るのではなく、町民ひとりひとりの声を聞く姿勢で分析を行う。

前述したように、本質的に地域に根差すまちづくりを実現するためには、地元民の声を吸い上げることが必要である。しかし、公共施設の建設においては、実際にその建築を使う人の顔を見て計画を進めることは困難である。そこで、このアンケートが町民の声となって設計者に届き、町民本意の公民館づくりの一旦を担うものとなることを期待する。

①回答者の属性について

対象者700人の内、326人から回答を得た。

回収率は約46.5%と大変高いものとなった。



②5 段階評価部分における結果

五感の「見る」・「聞く」・「触れる」・「味わう」・「香る」のカテゴリーから出た 24 問についての評価において、あくまで大まかな傾向を見る目的で以下のように点数化し、回答者の点数の合計が低い順番に上から並べた。

とても愛着・誇りを感じる	… 1点	あまり愛着・誇りを感じない	… 4点
やや 愛着・誇りを感じる	… 2点	全く 愛着・誇りを感じない	… 5点
どちらとも言えない	… 3点		

また、自由記述欄より各項目を具体的にするような意見を添えるものとする。

「春は桜、夏は草の香り、秋は虫の音、冬は白銀の風景と四季折々に生活の変化があり、色々な楽しみや喜びがある」	見	自然風景から感じる 四季の移ろい	「四季がはっきりして住みやすい」 「冬から春へと、けやきの新目がとてもすがすがしい」 「自然があり季節感が感じられ、子育てによい」
「山々を背負う凛としたたずまいはふるさとの誇り」 「鈴鹿セブンマウンテンなどが近く山歩きに恵まれている」	見	山並み・山の緑	「山の手入れをもっとした方がいい」
「芹川、犬上川に挟まれ、夏に鮎がよく獲れる清流がある」 「子供の頃川遊びをしたことが懐かしい」 「水がおいしい」	見	川の流れ 透き通った水	「米作り、野菜作りの手伝いをしていて、収穫し食べる時に愛着を感じる」
	味	自宅で収穫した 食材を食べること	「新米がおいしい」 「ニンジンが甘くておいしい」
	味	新米・新そばなど旬の食材を食べること	「春のウグイスの鳴き声が大好き」 「子供の頃川遊びをしたことが懐かしい」
	聞	野鳥のさえずり	
	見	星空の輝き	「月や星が美しい」 「夜に外へ出ると、星がとてもきれい」
	香	四季おりおりに変わる 草の匂い	「四季の香りを感じることができるので、ずっと住み続けたい」 「夜に外へ出ると、星がとてもきれい」
	香	森林など 木々の匂い	
「川には魚やカニがいる」	聞	川・水路のせせらぎ	「家の近くの川に水がなくなって久しい」
「多賀大社に関連した祭りが多く、伝統が受け継がれていくことを誇りに感じる」 「昔からの決まりごとが現代に合わないこともあるので時代に合わせて変えていくことも必要」	聞	祭りの音	「季節おりおりの行事がしっかり行われている」 「賑わうことがある度多賀町に住んでいることを誇りに思う」
	聞	子どもの声	「子供のびのびと遊べる」 「子供のびのびと暮らせる、たおやかな町であってほしい」
	味	人から食べ物のおすそ分けがあること	
「家から出るのはデイスサービスの時くらいで自然の匂いと接することがほとんどない」	香	川の匂い	
	味	糸切り餅・そばなどの特産品を食べること	「特産品を安く買えるようにしてほしい」
「県下で初詣客が一番多い」 「伝統ある門前町としての誇りを感じる」	触	多賀大社前の街並み	「潤いがあるのは多賀大社前のみ」 「多賀大社の門前町として、活気があり、また訪れたい町に」
	味	郷土料理の作り方が伝わっていること	「地元産の食材を使ったソバや味噌、ぜんざいを手作りできる環境にいるのは幸せ」
	香	糸切り餅・そばなどの特産品の匂い	
「交通の便を充実させてほしい」 「路線バス、車がないと生活できない」	聞	近江鉄道の電車が進む音	
	見	低い軒の家が並ぶ街並み	「古い町並み、裏の小路が好き」
「多賀少年野球クラブ」 「もっと自由に女性を集めてサークルを開いてほしい」	触	サークル活動でのふれ合い	「字単位での伝統行事が減っている」
「近所のひととの信頼、つきあい、想い合い、助けあい」 「田舎ならではの人の良さがある」	触	井戸端会議	「隣近所が顔の見える存在で頼りになる」
「都会から引っ越してきて戸惑いもあったが住めば都でいいところもわかってきた」	触	都市化していること	「あまり都市化してほしくない」
「里山の風情があり、キジ、サギ、トンビ、シカを見る」 「獣害対策してほしい」	触	野生生物と共存した暮らし	「家の畑に時々サルが来てせつかく作った野菜を食べるので、憎たらしい」

以上を踏まえ、「中央公民館整備に係る委員意見」に、町民の生の声を盛り込んだ、以下の文を加えることとした。

豊かな緑を持つ山が連なり、鮎やカニのいる清流に囲まれ、香り高いソバや米が生まれ、鳥のさえずりが聞こえ、美しい四季の移ろいを感じるような、町民の持つ愛着をデザインコードとして取り入れた施設とする

③-1 自由記述欄

「あなたが、多賀町への愛着・誇りを感じる事柄、多賀町への想いなどを、ご自由にお書きください」
における結果

自然

- 豊富な自然、風景 (31件)
 - ・心も体もリフレッシュできる、落ち着く
 - ・身近に感じる
 - ・自然と触れ合いながら成長できる
 - ・前は川、裏は山に囲まれ生活している
- 四季折々の山の風景 (3件)
- 山歩きができる鈴鹿セブンマウンテンなど
- 森林、豊かな緑 (4件)
- 川、水の恵み (4件)
 - ・芹川、犬上川など、夏には鮎がよく獲れる、カニがいる
 - ・子供の頃川遊びをしたことが懐かしい
 - ・水がおいしい
- 里山の風情
- 田や畑が広がっていること
 - ・ふるさとを感じる大切な要素
- 田舎らしく素朴なところ
- きれいな月、星、夕日、夜空 (6件)
- きれいな空気 (4件)
- 四季の移ろい (10件)
 - ・桜、紅葉の名所がある
 - ・そばの花、彼岸花
 - ・木に積もった雪
 - ・四季がはっきりしていて住みやすい
- 野生動物 (3件)
 - ・キジ、サギ、トンビ、シカ、ウグイス、カエルなど
- 自然を楽しめる、ある程度の施設や開発を (7件)
 - ・ドッグランなど
- 山が荒れている、減っている (4件)
 - ・広葉樹が少ない、もう少し元気で明るい雰囲気だといいたい
 - ・もっと手入れをした方がいい
 - ・工業団地によって、山がだいぶ減った
- 山林が多く平地が少ないため事が上手く運ばないことが多い
- 家の近くの川に水がなくなって久しい
- 野生動物、獣害に困っている (13件)
 - ・サル対策をしてほしい
 - ・自習栽培している食材を食われてしまう
- 自然と動物だけでは誇りは感じられない (2件)
 - ・自然との共存は難しく、生活面で厳しさを感じる
- 持ち主不明の木による落ち葉に困っている
- アレルギーのある人にとっては、スギやソバは喜ばしくない

暮らし・都市構造

- 住めば都、住み慣れた町 (6件)
 - ・子供の頃は山奥に住むことが嫌だったが、今はよい町だと思う
- 静かで穏やか、ゆっくりした時間が流れているところ (5件)
- この先もずっと多賀に住みたい、多賀への愛着はつづく (3件)
- 自然が多く、子育てに向いているところ (3件)
 - ・子供がのびのび遊べる
- 生活しやすいところ (3件)
- 日常生活の利便性が高いこと
- 道路の雪かきをしてくれること
- 暮らしにくい
- 町が寂しい (3件)
- 集落が多く、町としてのまとまりがない、発展性がない
- 医療機関の充実を (2件)
- スーパーの誘致を (5件)
 - ・いつも彦根まで出かけなければならない
 - ・大型スーパーにしかできないデリバリーサービスを求む
- 皆が使える自然あふれる公園、広場などがあるといい
- 公共施設がバラバラに点在しており、使いにくい
- 行く末は寂しい町になってしまうことがつらい
- 都市化してほしくない
- 田舎ながら不便さのない町がよい
- 事件、事故がないようにしたい

交通

- 優れた交通の便 (3件)
- 交通の便をよくしてほしい (5件)
 - ・歳をとると、買い物などが不便
 - ・車、バスがないと生活できない
- バスや電車を増便してほしい (5件)
 - ・中高生に不便、親に負担がかかる
- 会社が多い地域は車が多く、困っている
- 守野は路上駐車が多く、道路が暗く、飛び出しも多い

人間関係

- 近所との付き合いや信頼関係、支え合う気持ち (5件)
- 田舎ならではの穏やかで人間味があり親切的な町民 (6件)
- 兄弟と仲良くしていること
- 子供のかわいい笑顔
- 子供や若者には寂しい町
- 町出身者以外に冷たい
- 皆が他人に思いやりを持るとよい
- 人口減少によって人の触れ合いが薄れていくのでは
- 学校や地域の子供同士に関わりを持たせれば愛着がわくのでは (2件)
- 団地や民間アパートでは人のつながりが希薄化し、自治会運営にも影響するのでは
- ボランティアや強制参加ばかりではなく町がバイト代を出し町民や大学生が働く場を提供すれば人間関係ができるのでは

食べ物

- おいしい食材（3件）
 - ・新米、そば、にんじん
- 地元産の食材を使って料理を手づくりできる環境
 - ・味噌、ぜんざい
- 米や野菜をつくり、収穫して食べること

祭り・伝統

- 祭り・行事・イベント（16件）
 - ・多賀大社を中心に1年中事業が動いている
 - ・もっとPRして盛大にしてほしい
- 伝統ある門前町としての誇り
- 先人の歴史的偉業、先見の明

- 門前町は商売として成り立っておらず、今後が心配
- 字単位の伝統行事が減っている
 - ・そのため、人づきあいが減少し若者が流出しているのでは
- 伝統や習わしも、時代に合わせて変えていくべき（3件）
 - ・若者も参加しやすくすべき

史跡・施設・観光

- 多賀大社（10件）
- 多賀大社前駅、その周辺
- 多賀大社への参拝客（2件）
 - ・初詣客が県下で1番多い
- 河内の風穴（3件）
- 胡宮神社（2件）
- 名神高速道路多賀サービスエリア（4件）
 - ・夜は明るくよい
- キリンビール
- 多賀小学校、中学校
- B&G
- 図書館、郵便局
- 近江鉄道
- 天究館
 - ・天文学に精通した先生がいる
- 観光客数滋賀県 No1 を奪還し、維持したい
- 多賀大社ブランドをもっと売ってよい
- 観光に力を入れるべき
- 天究館、野鳥の森を一体化しては
- 多賀大社という観光地に頼りすぎている
- 潤っているのは多賀大社前のみ
- 境内を車が走り回っていることに幻滅する
- 門前亭（そば屋）が活かされていない
- 既存施設を大切にしていない

活動

- 多賀少年野球クラブ
- 楽天イーグルスの則本投手、高校球児
- サークル活動での仲間と雑談
- 女性集めたサークルがほしい
- 中途半端な活動はやめてほしい

政策

- 子育て支援が手厚い
- 高齢者に配慮する対策が必要
- 少子高齢化対策が必要（3件）
- 山間部の活性化対策が必要
- 過疎化、少子化、人口減少の、限界集落の問題が心配（6件）
- 三世代が生活しやすいまちにしてほしい
- 活気があり、また訪れたいと思える町にしてほしい
- 次世代の人にどのようにつなげるか考えて業務遂行を
- 里山など、地域資源を活かした取り組みをしてほしい
- 子供が愛着を感じられるよう、教育機関での意識改革が必要
- 山間部でも安心して住めるように
- 多賀への愛着・誇りが伝わる施策がうてるか疑問
- 観光や商店を営む人ばかりに目を向けていて、その他の住民の意見が反映されない（3件）
- 中高年の余力を伸ばす新しい産業が必要
- 小さな活動、特産品の発展、地場産業の見直しが必要
- 若い世代が居住しやすい環境づくりが必要
- 事業を進める際はスピード感を持ってほしい
- 企業を誘致するなど安定した働く場をつくり、若者の定住化をはかるべき
- 犬上川、芹川周辺を利用したまちづくり、環境整備、人が集まる工夫が必要
- 子供がのびのびと暮らせ、高齢者も誇りを持てるたおやかな町であってほしい
- 昔のよさを残しつつ次世代へ進化できれば

知名度・PR

- 広報のアイデアを募り、知名度を上げたい
- PRがもっと必要（4件）
 - ・隠れた名所がたくさんある
 - ・町外へのPRを
 - ・若者が興味を持つ話題を
- 自然と文化を残し活かす、利用する、管理する
- 赤い屋根の家を建てるなど、画家が来られるような町に

その他

- 他の市町村と比較して、全てのことに誇れる町である
- 当たり前のように今のままの多賀であってほしい（6件）
 - ・近代化して昔のよさを失ってほしくない
- 生まれが多賀でない人にも、多賀はさすがと言われるようにしたい
- 木造まちづくりには賛成だが、自分の家は築100年以上で柱が傾いており、地震が心配
- 愛着・誇りは、暮らししたり働いたりする中で培われる絆や感性によって育まれると思う（2件）
 - ・愛着がわくような時や場所が少ない
- 役場職員で、多賀町出身者はいても居住者はどれくらいいるだろうか？
- ボランティアを募り、イベントをすることは大切
- デイサービス以外に外出にしないので、自然の匂いと接することがない
- 多賀大社前の店舗の従業員の素行が悪い

③-2 自由記述欄

「あなたが、**新しくなる中央公民館に期待すること**などを、ご自由にお書きください」
における結果

コンセプト

- 文化、芸術、暮らし、歴史などが重なり、多くの人が集う場に (11件)
 - ・多賀の歴史がわかり、昔の暮らし方が次世代へ受け継がれる場所に
- 人と人がつながり、話し合い互いに支え合う拠点に (2件)
- いつ行っても人で溢れる公民館に
- 老若男女が気軽に利用しやすく、皆でつくる公民館に (29件)
 - ・子ども、若者、妊婦、高齢者、障害者が使いやすいとよい
 - ・中高生になっても友達と行こうと思えるものにしてほしい
 - ・休日のクラブが楽しかった経験から、世代を越えて皆で遊べる場にしてほしい
 - ・成人式で利用するので、きれいに変わると嬉しい
 - ・いつでも集えるようにしてほしい
- 利用者にも管理者にも使いやすい施設に
- 幼い子供が利用できる安全な施設に (5件)
 - ・交通面にも配慮し、安全性を確保してほしい
 - ・親子、祖父母と孫が安心して遊べるようにしてほしい
 - ・子供の頃に多賀を好きになれば、歳を重ねてもその気持ちが続くのでは
- 多賀町の地域性を活かした建築に
- 四季折々の花が咲き、小鳥のさえずりが聞こえる癒しの場に
- 町外に出ている世代が地元に戻ってきたくなるような公民館に
- 将来に負担が残らない、将来に生きる施設に
- 現代社会にマッチする公民館に
- 明るく開放的なイメージのある公民館に (2件)
- 地域の人材の技術を再活用できる場に
- 学力アップにつながる場に
- 他の地域には見られない、新たな試みのある施設に
- 多目的で簡素に (2件)
- 他の公共物と一体化するように

木の利用

- 木の香り、温もりが感じられる公民館に (6件)
- 多賀町産天然木の利用する (5件)
- 地産地消を意識した木造に (3件)
 - ・山元から設計、製材、工務店が意を共にするためによい機会だ
 - ・林業への見直しが必要である
- 費用が高くついても、木の特徴を活かした建物に (2件)
- 多賀大社を意識した、木造の大社造りに

外観イメージ

- 多賀の風景（山並みなど）にマッチした外観 (3件)

内観イメージ

- 明るく開放的な空間
- 落ち着いた雰囲気、自然豊かな風合いがあり優しく温もりのある空間 (4件)
- 美しい星が見える空間
- 日当たりがよく、通気性に優れる空間
- 現代のスタイルに合い、利用者が使いやすい建物

欲しい所室

【 ホール・音楽室 】

- グランドピアノのある防音ホールに (5件)
 - ・合唱、吹奏楽などの練習、コンサートをしたい
- 立派な大ホールに (4件)
- 映画館（シアタールーム）、ミュージカルやダンスの稽古ができるスペースに (2件)
- 避難所としての機能のあるホールに
- 映画上映、ライブのための音響設備を整えてほしい

【 工作室 】

- 現在のような陶芸のできる環境を残してほしい
- 職人の技や心を伝える指導をし、手づくり品をつくる工房に

【 トイレ 】

- 洋式に
- ひとつくらいは和式も必要
- バリアフリー、障害者用トイレもほしい
- 更衣室があればよい

【 公園 】

- 公民館周辺に緑の公園を整備し、憩いの場に (2件)
- 子供用、高齢者の健康維持用の遊具を設置してほしい (2件)
- 個人でもグループでも楽しめるものに
- 遊べるリースペースを広く取ってほしい (2件)
- 国道沿いの立地を活かして、特産品の販売所を併設しては

【 駐車場 】

- 数が多く必要
- 高齢者に配慮し、幅を広く

【 その他 】

- カフェのような、大人がいつでもできる場
- 高齢者が集えるスペース (4件)
 - ・気楽におしゃべりしたり、手芸やお花の稽古をしたり、運動したりできるとよい

- 雨や雪の日に遊べる屋内プリースペース
- 美術展ができるギャラリー
- 小部屋 (5件)
 - ・貸しホール、貸し会議室、自習室、文化サークルの拠点
 - ・年中行事以外の使用できる部屋
 - ・字が自由に使える部屋
- 特産品が安く買えるコーナー
- 和室
- 利用度の高い多目的ホール
- 部屋の入口に設ける、簡単な腰かけ
- 利用団体が使用できる鍵付きのロッカー、棚

欲しい機能

【 設備 】

- 床暖房
 - ・現在行っているヨガや健康ウォーキングにて、冬期は寒い
- 充実した空調設備 (2件)
- 広い部屋における、冷暖房費の節約のための仕切り
 - ・現在の暖房費は1時間100円で高い
- 雪水漏れ防止対策
 - ・現在の公民館にて、雪水の漏れによって滑り怪我をした
- 防音設備 (2件)
- 自動販売機
- エレベーター
- 将来の維持管理を考え、過大な施設とならないように (2件)
- ライフサイクルコストの低減を十分検討してほしい
- 100年持つ建築に

【 避難所機能 】

- 充実した避難所機能 (5件)
- 堅牢でシンプルな建築
- 避難所とするために、木造にこだわらない耐震構造
- 周辺道路や橋に対しても、災害に耐えるような整備が必要

【 交通機関 】

- 利便性のある交通の便 (2件)
- 送迎バス・公民館行きの町内循環バス (5件)

【 イベント・講座 】

- 低価格で参加しやすく、多種ある講座、イベント (8件)
 - ・カラオケ、コーラス部
 - ・健康のための体操部
- 町民主体の催しもの
- 観劇 (5件)
 - ・吹奏楽、歌などのコンサート、子供向けの人形劇など

【 運営面 】

- 高齢者、障害者、生活困窮者も参加できる共生の仕組みづくり
- 市民団体や土地改良断田尾などの事務所
- 行政以外の中間的な公共団体による運営 (4件)
 - ・シルバー人材による運営
 - ・町内で最も熱意を持って活動している天究館との協力
- 常に利用できる環境整備
- 掃除が行き届いているように (2件)
 - ・特に調理室を清潔に保ってほしい

【 広報 】

- もっと広報をし、集まりやすいように皆に周知 (4件)
 - ・現在、公民館がどのような事に利用されるのか分からない
 - ・町外への発信

その他

【 中央公民館の現状について知らない 】

- 現在の中央公民館にほとんど行ったことがない (7件)
 - ・公民館の役割や、何に使われているのか分からない
- 新しくなることについて知らなかった

【 新公民館はいらない 】

- 多額の費用を要する公民館建設は不要 (2件)
 - ・少子高齢化、新興減少の時代において、活動の充実化が必要で、箱物の建築は要らない
- 今のままでも十分きれいなので新しくする必要がない (2件)

【 敷地について 】

- 多賀大社や役場に近い敷地へ (2件)
 - ・現在の公民館は、市街地から離れている
- 鈴鹿山系が一望できる場所へ

【 金銭面について 】

- 税金を使うので、ローコストで無駄遣いがないように (4件)

【 その他 】

- 新しい公民館ができることが楽しみ、素敵な公民館を期待 (3件)
- 早期の建て替えを希望する
- 大滝地区の町民にも使いやすくしてほしい
- 現在の中央公民館は子供が寄り付かない
- 新しくなってから、どのような動きをするか様子見する